

以下の箇所に誤りがありました。謹んでお詫びし訂正いたします。

6章 生殖に関する生理 4節 性周期 1項 月経周期  
p.115 本文 上から15行目

【誤】 卵巣に存在する卵胞は、排卵の有無にかかわらず自然に閉鎖してその数を減らしていく。胎児の卵胞には約700万個の卵胞があるが、出生時にはすでに約80万個まで減少しており、初経時には約30万個、40歳では約1万個となり、ついには枯渇して排卵する卵胞がなくなり、閉経に至る。日本における平均閉経年齢は50.5歳と報告されており、46歳では10%、56歳では90%の女性が閉経している。一般に40代では排卵が規則的ではなくなり、月経周期が不順となり、月経以外に不正性器出血を来すなどの変化が生じる（**周閉経期**）。また、突然顔面が紅潮して暑くなり発汗する**ホットフラッシュ**などの自律神経の失調症状、いわゆる**更年期障害**と呼ばれる症状を示す。

【正】 卵巣に存在する卵胞は、排卵の有無にかかわらず自然に閉鎖してその数を減らしていく。胎児の卵胞には約700万個の卵胞があるが、出生時にはすでに約80万～200万個まで減少しており、初経時には約30万個、40歳では約1万個となり、ついには枯渇して排卵する卵胞がなくなり、閉経に至る。日本における平均閉経年齢は50.5歳と報告されており、46歳では10%、56歳では90%の女性が閉経している。一般に40代では排卵が規則的ではなくなり、月経周期が不順となり、月経以外に不正性器出血を来すなどの変化が生じる（**周閉経期**）。また、突然顔面が紅潮して暑くなり発汗する**ホットフラッシュ**などの自律神経の失調症状、いわゆる**更年期障害**と呼ばれる症状を示す。

7章 生殖における健康課題と看護 3節 女性生殖器の腫瘍  
p.152 5項 子宮体癌（子宮内膜癌）

【誤】 **5 子宮体癌（子宮内膜癌）**

子宮体癌は子宮内膜から発生する悪性新生物であり、病理学的には**類内膜腺癌**が80～90%、**漿液性腺癌**が5～10%、**明細胞腺癌**が5%程度である。**類内膜腺癌**はGrade1（高分化）～3（低分化）に分類される。

【正】 **5 子宮体癌（子宮内膜癌）**

子宮体癌は子宮内膜から発生する悪性新生物であり、病理学的には**類内膜腺癌**が80～90%、**漿液性癌**が5～10%、**明細胞癌**が5%程度である。**類内膜癌**はGrade1（高分化）～3（低分化）に分類される。

【誤】

## 1 妊孕性と不妊

### 1 妊孕性とは

女性の晩婚化と挙児希望年齢の高年齢化などの要因によって、加齢に関連した不妊症が増加している。加齢による<sup>にんよう</sup>妊孕性\*の低下は、加齢に伴う卵子数の減少に加え、卵子の質の低下が主な原因であるといわれる(図8-1)。ヒトの卵巣内の卵子は妊娠4カ月目の胎児で約700万個存在するが、出生時には200万個まで減少し、さらに年齢とともに減少を続け、50歳ごろには1,000個以下になって閉経に至る。したがって、ある程度の卵子数が残存していても、妊孕性の低下は起り始めていると認識することが必要である。また、卵子の質の低下は、妊娠率の低下に加え、流産率の上昇にもつながる。

【正】

## 1 妊孕性と不妊

### 1 妊孕性とは

女性の晩婚化と挙児希望年齢の高年齢化などの要因によって、加齢に関連した不妊症が増加している。加齢による<sup>にんよう</sup>妊孕性\*の低下は、加齢に伴う卵子数の減少に加え、卵子の質の低下が主な原因であるといわれる(図8-1)。ヒトの卵巣内の卵子は妊娠4カ月目の胎児で約700万個存在するが、出生時には約80万~200万個まで減少し、さらに年齢とともに減少を続け、50歳ごろには1,000個以下になって閉経に至る。したがって、ある程度の卵子数が残存していても、妊孕性の低下は起り始めていると認識することが必要である。また、卵子の質の低下は、妊娠率の低下に加え、流産率の上昇にもつながる。

ナーシング・グラフィカ 母性看護学①  
『概論・リプロダクティブヘルスと看護』 正誤表

第2版第1・2刷

以下の箇所に誤りがありました。謹んでお詫びし訂正いたします。

8章「不妊症」 2節「不妊の原因と治療」 1項「不妊の原因と検査」  
p.166 表8-1 不妊の検査

**【誤】**

原因	基本検査	内 容	実施時期	異 常	二次検査
主に 女性	基礎体温測定	性周期による体温の周期的変化を測定したもので、月経周期前半の低温相と陥落日をはさんだ後半の高温相の性状から排卵の有無および黄体機能を査定する。	通年	排卵障害 黄体機能不全	LH-RH テスト 黄体期子宮粘膜検査
	頸管粘液検査	エストロゲンに反応して子宮頸管腺が分泌する粘液の量と性状を見る検査で、卵胞成熟の指標となる。	排卵期	頸管粘液異常	クラミジア抗原・ 抗体検査
	子宮卵管造影	外子宮口から子宮腔へ造影剤を注入し、子宮腔の形状、卵管の走行と疎通性、卵管周囲の癒着などを診断する。	排卵期	子宮形態異常 卵管疎通性障害	子宮鏡
	経陰超音波診断	腔に超音波診断装置のプロープを挿入し、子宮や卵巣の状態を映し出して診断する。	通年 排卵期	子宮・卵管形態異常 卵胞発育異常	子宮鏡、腹腔鏡 LH-RH テスト
	フーナーテスト	性交後に頸管粘液中および子宮内腔における運動精子の有無を検査することにより、性交の有効性・精子の妊孕性・精子と頸管粘液の適合性などを推測する。	排卵期で 性交後	免疫性不妊	抗精子抗体検査
主に 男性	精液検査	精子濃度、運動率、奇形率などを検査し、精液の妊孕性を査定する。	通年	乏精子症 無精子症	精巣生検、精路・精 嚢造影、染色体検査

**【正】**

原因	基本検査	内 容	実施時期	異 常	二次検査
主に 女性	基礎体温測定	性周期による体温の周期的変化を測定したもので、月経周期前半の低温相と陥落日をはさんだ後半の高温相の性状から排卵の有無および黄体機能を査定する。	通年	排卵障害 黄体機能不全	LH-RH テスト 黄体期子宮粘膜検査
	頸管粘液検査	エストロゲンに反応して子宮頸管腺が分泌する粘液の量と性状を見る検査で、卵胞成熟の指標となる。	排卵期	頸管粘液異常	クラミジア抗原・ 抗体検査
	子宮卵管造影	外子宮口から子宮腔へ造影剤を注入し、子宮腔の形状、卵管の走行と疎通性、卵管周囲の癒着などを診断する。	排卵期	子宮形態異常 卵管疎通性障害	子宮鏡
	経陰超音波診断	腔に超音波診断装置のプロープを挿入し、子宮や卵巣の状態を映し出して診断する。	通年 排卵期	子宮・卵管形態異常 卵胞発育異常	子宮鏡、腹腔鏡 LH-RH テスト
	フーナーテスト	性交後に頸管粘液中および子宮内腔における運動精子の有無を検査することにより、性交の有効性・精子の妊孕性・精子と頸管粘液の適合性などを推測する。	排卵期で 性交後	免疫性不妊	抗精子抗体検査
主に 男性	精液検査	精子濃度、運動率、奇形率などを検査し、精液の妊孕性を査定する。	通年	乏精子症 無精子症	精巣生検、精路・精 嚢造影、染色体検査